

2018年3月期第3四半期 決算説明資料

2018.2.2

TIS株式会社

Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

(2018年2月2日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・TISの柳井です。よろしくお願いいたします。

2018年3月期第3四半期（累計） 業績概要

2018年3月期 業績見通し

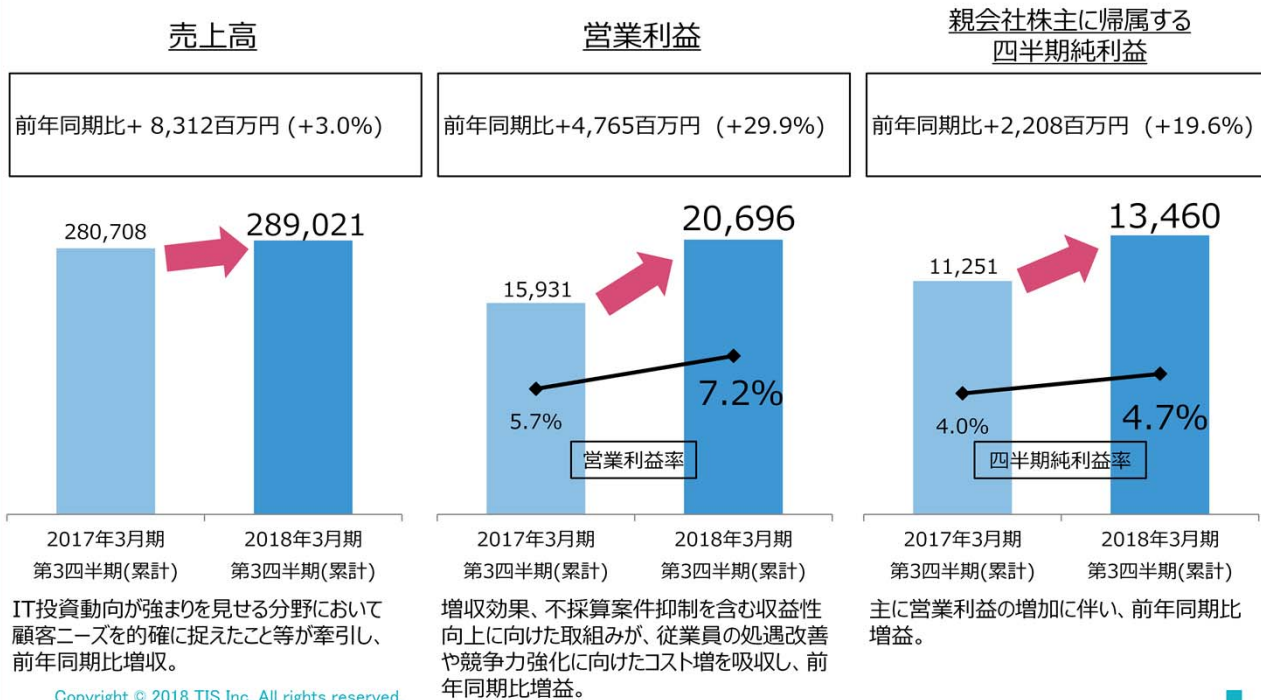
参考資料

- ・それでは、本日3時半に発表いたしました、当社の平成30年3月期第3四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

2018年3月期第3四半期（累計） 業績ハイライト

（単位：百万円）

・良好な事業環境を背景に、事業拡大や収益向上の取組み等により、前年同期比増収増益。

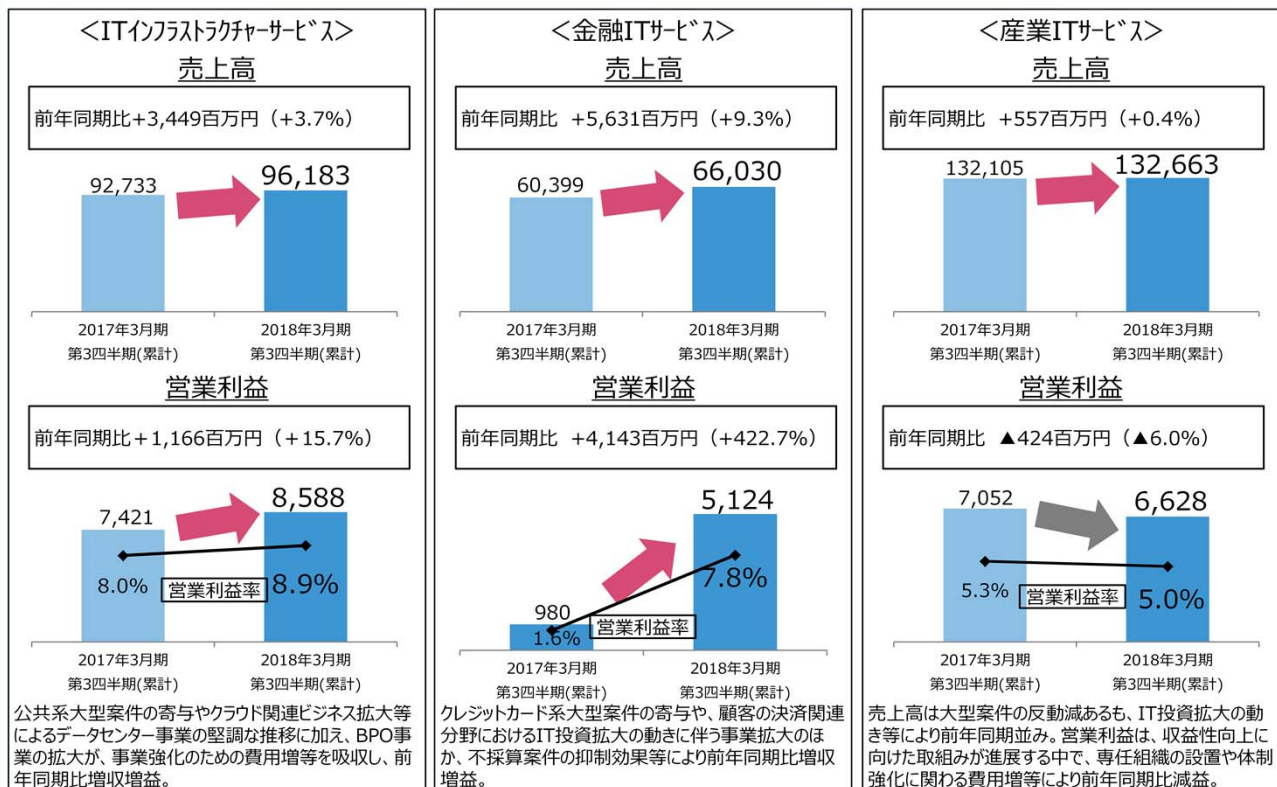


3

- ・当第3四半期累計期間の業績は、前年同期比増収増益となりました。全体としては引き続き業績好調だったと考えています。
- ・売上高は、良好な事業環境を背景に2,890億円となり、前年同期比で83億円・3.0%の増収となりました。
- ・営業利益は前年同期比47億円・29.9%増の206億円となりました。増収効果や不採算案件の抑制を含む収益性向上の寄与がコスト増を吸収したことで前年同期比増益となりました。
- ・また、親会社株主に帰属する四半期純利益は134億円と、前年同期比22億円・19.6%増となりました。これに伴って利益率も改善しました。
- ・なお、これまで3年超にわたって遂行してきた公共系大型案件ですが、予定通り1月初旬にサービスインし、順調に稼働していることをご報告しておきます。

2018年3月期第3四半期（累計） 主要セグメント別損益状況

（単位：百万円）



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

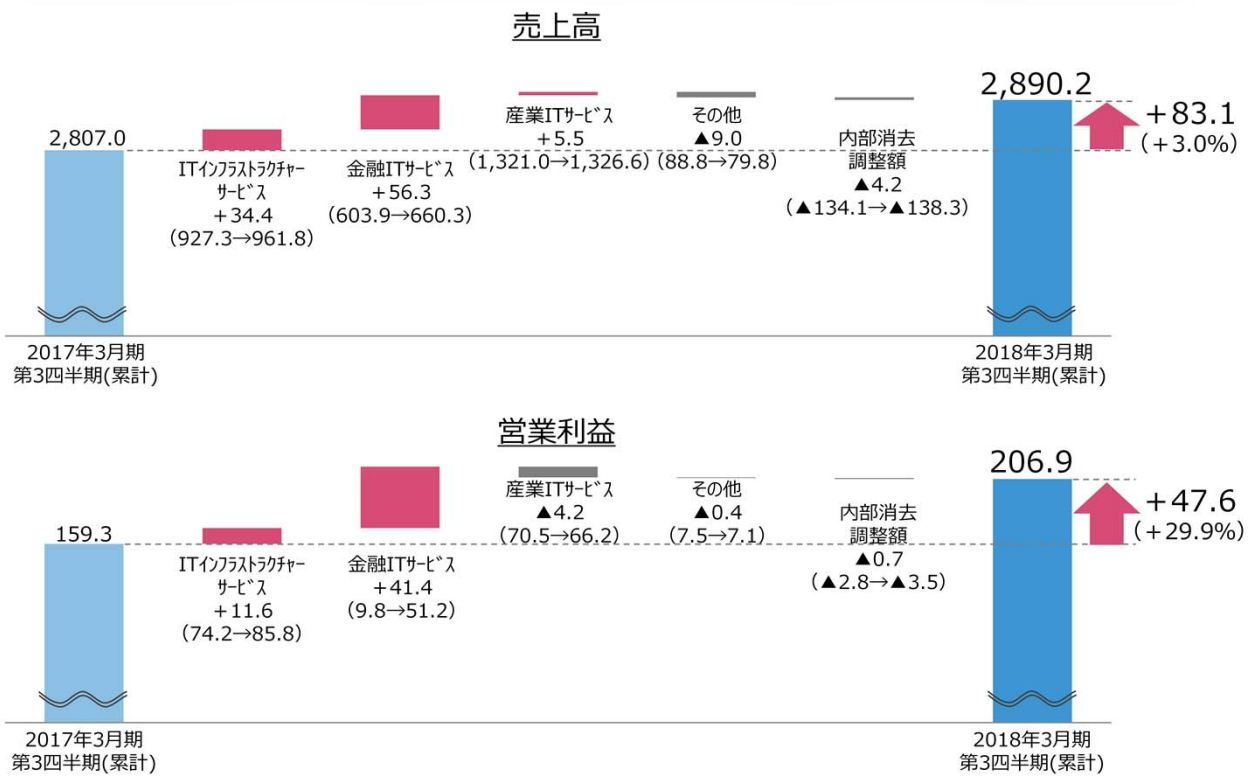
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

4

- ・主要なセグメント別の状況についてですが、3セグメントとも概ね堅調といえる内容でした。
- ・3セグメントのうち、ITインフラストラクチャーサービスと金融ITサービスが好調に推移しました。ITインフラストラクチャーサービスは、データセンター事業・BPO事業とも堅調に推移し、金融ITサービスでは、クレジットカード系の大型案件や決済系のIT投資拡大が継続したことが牽引しました。
- ・産業ITサービスですが、売上高は大型案件の反動減もある中で、前年同期並みを確保しましたが、営業利益については、収益性向上に向けた取組みが進展する中で、今後の競争力強化のためにAI関連等の専任組織設置や体制強化に関わる費用が増加したこと等もあり、前年同期比で約4億円の減益となりました。

2018年3月期第3四半期（累計） 売上高・営業利益増減分析

（単位：億円）



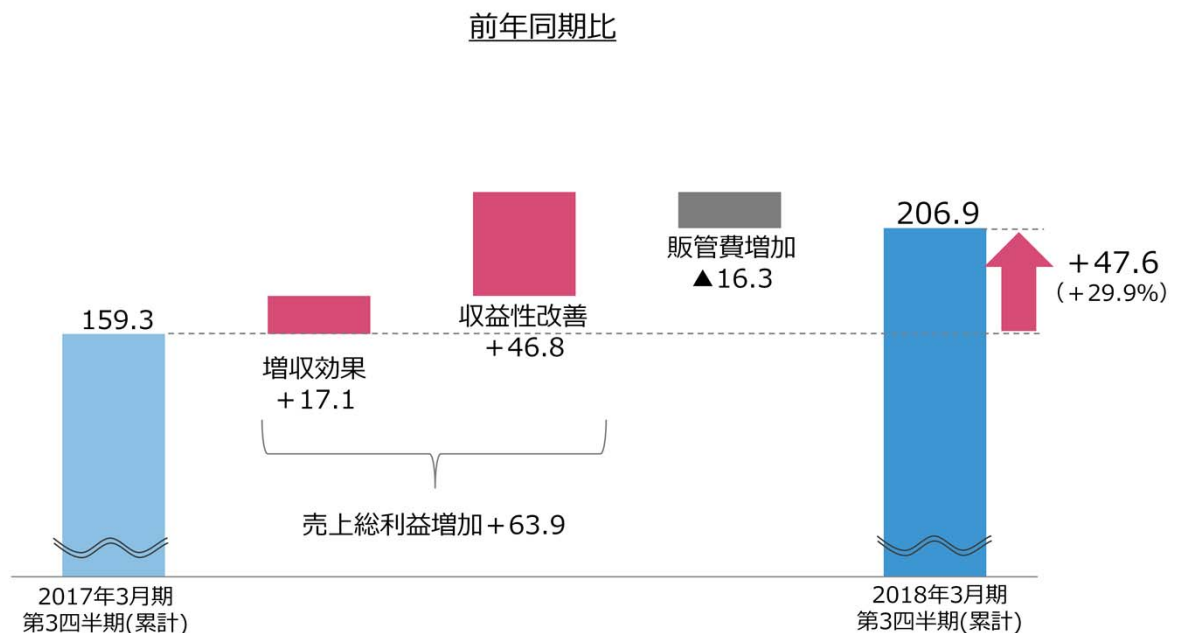
Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

5

（説明省略）

2018年3月期第3四半期（累計） 営業利益要因別増減分析

（単位：億円）



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

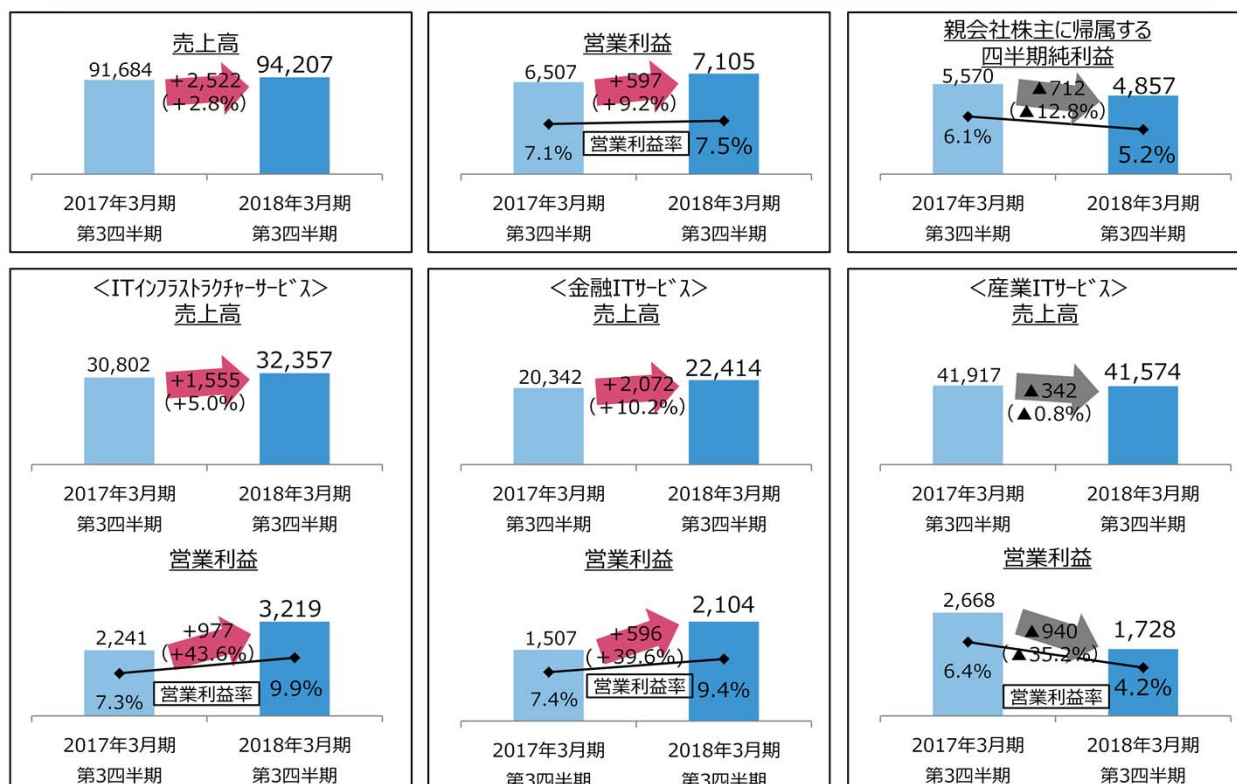
6

- ・営業利益の要因別増減分析です。
- ・当第3四半期累計期間では、前年同期に比べて、増収効果で17.1円増加、収益性改善で46.8億円増加したことで売上総利益は63.9億円増加した一方、販管費が16.3億円増加した結果、営業利益は47.6億円の増加となりました。
- ・なお、不採算案件ですが、当第3四半期は約6億円であり、9ヵ月の累計では約14億円という結果となりました。前年同期比で26億円減少し、収益性改善の大きな要因となりました。この他、生産性向上等の施策の成果も約20億円の増益要因となりました。
- ・販管費の増加は、主として人件費の増加であり、従業員の処遇改善やAI等の専任組織の設置、体制強化等の競争力強化に向けた前向きなものだと考えています。前年同期比では増加となっていますが、販管費率で見れば、概ね前年同期並みの水準であり、コントロールできていると考えています。

(参考) 2018年3月期第3四半期 (10-12月)

業績ハイライト・主要セグメント別損益

(単位: 百万円)



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

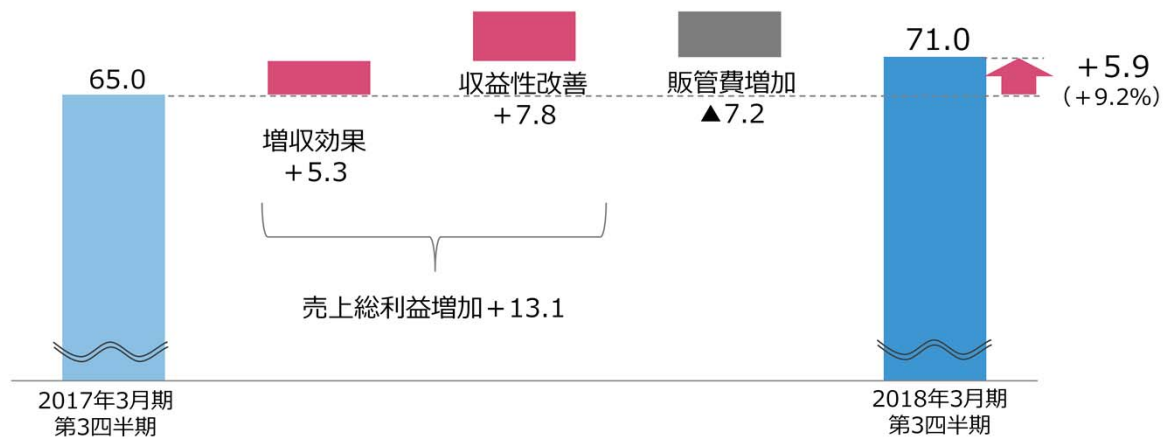
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

7

- ・直近の3か月間の業績のポイントとして、2つご説明します。
- ・一つは、親会社株主に帰属する四半期純利益の減益については、前期の第3四半期に投資有価証券売却益約17億円を計上したことによる反動です。
- ・もう一つは、産業ITサービスの業績です。製造業向けのERP等は好調でしたが、不採算案件が少し増加したこと、及び、競争力強化のための先行投資費用増や大型案件の反動減の影響等により、前年同期比減収減益となりました。

(参考) 2018年3月期第3四半期 (10-12月)
営業利益要因別増減分析

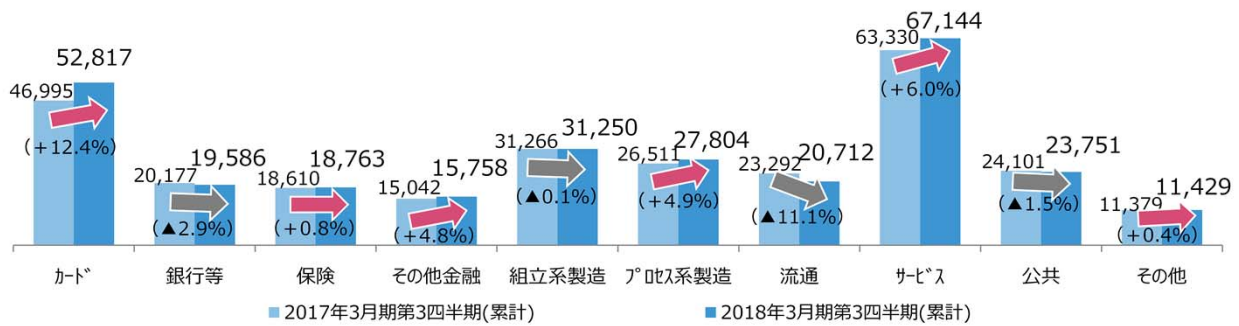
(単位: 億円)



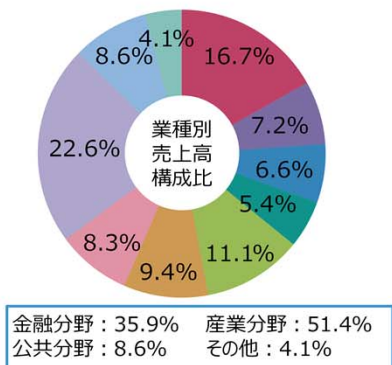
(説明省略)

2018年3月期第3四半期（累計） 顧客業種別売上高

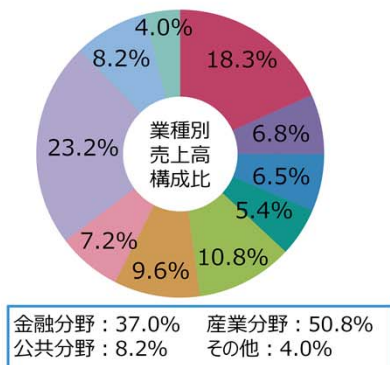
（単位：百万円）



<2017年3月期第3四半期(累計)>



<2018年3月期第3四半期(累計)>



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

9

- ・顧客業種別の売上高の状況です。
- ・上期の時と傾向は大きく変わっておらず、左側の金融系でも、右側の産業・公共系でも、業種によって比較的まだら模様という感じでした。金融系では、大型案件の寄与や既存顧客から幅広く引合いがあったこと等でカード・決済分野が好調だった一方、銀行等は少し控えめでした。産業・公共系では、サービスが非常に好調であったほか、ERPを中心に組立系製造業が好調でしたが、流通が厳しい状況でした。

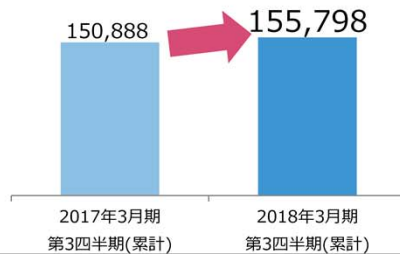
2018年3月期第3四半期（累計） 受注状況

（単位：百万円）

- ・当期受注高は好調な事業環境を背景に、反動減等を吸収して前年同期を上回る水準を確保。
- ・期末受注残は前年同期比減少だが、主要因は公共系大型案件の進捗による減少。

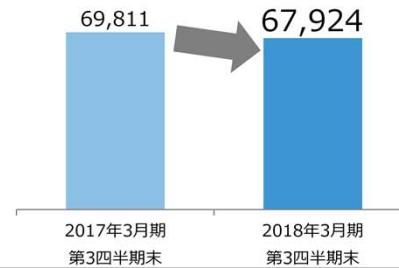
受注高

前年同期比 +4,910百万円 (+3.3%)

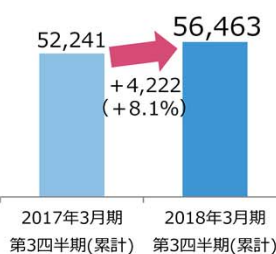


期末受注残高

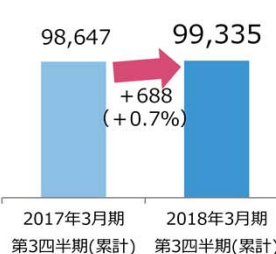
前年同期比 ▲1,887百万円 (▲2.7%)



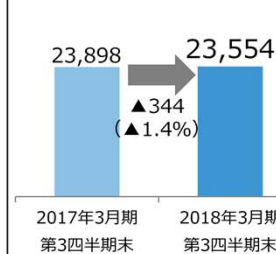
<金融ITサービス>



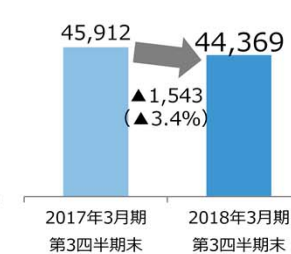
<産業ITサービス>



<金融ITサービス>



<産業ITサービス>



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

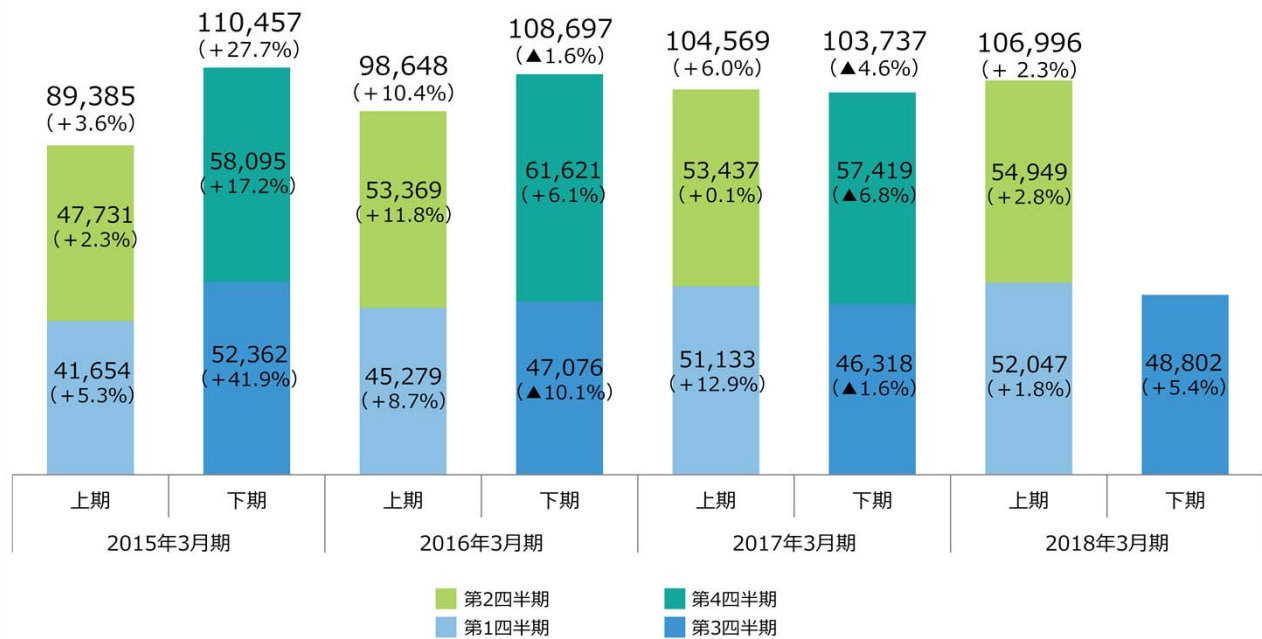
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

10

- ・受注状況についてご説明します。
- ・当第3四半期累計期間の受注高は、事業環境が良好な中で金融ITサービスを中心に着実な積み上げができたことから、前年同期比3.3%増の1,557億円となりました。
- ・産業ITサービスの受注高については、12ページの四半期別推移でみますとしばらく前年同期比マイナスが続いていましたが、第2四半期で前年同期比微増となり、第3四半期は2.3%増と明るさが出てきたと感じています。
- ・また、期末受注残は、公共系大型案件の進捗により、前年同期比減少となりましたが、この影響27億円を除いたベースでは増加に転じています。
- ・以上が、当第3四半期累計期間の実績に関する説明となります。

受注高の推移

(単位：百万円)



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

11

(説明省略)

2018年3月期第3四半期（累計） 業績概要

2018年3月期 業績見通し

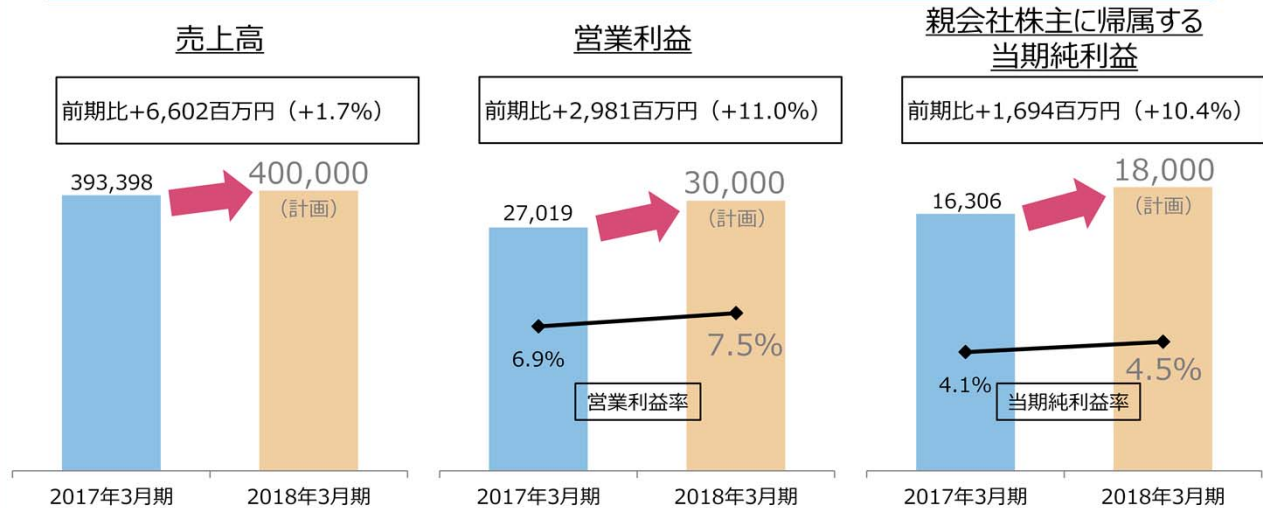
参考資料

- ・それでは、通期業績見通しについてご説明します。

2018年3月期 業績予想ハイライト①

(単位：百万円)

- ・前期比増収増益の計画。売上高・営業利益は中期経営計画の目標値に設定。
- ・中期経営計画の目標を1年前倒しで達成した親会社株主に帰属する当期純利益については、更なる向上を目指す。
- ⇒連結業績は好調に推移、引き続き期初計画達成を目指す。期初計画値の変更はなし。



顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大や大型案件の着実な遂行等により、前期比増収を見込む。

増収効果のほか、不採算案件の抑制や生産性向上を継続推進。先行投資等のコスト負担増を吸収して前期比増益を見込む。

主に営業利益の増加に伴い、前期比増益を見込む。

Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

14

- ・2018年3月期の通期業績見通しについては、期初計画からの変更はありません。
- ・売上高は前期比1.7%増の4,000億円、営業利益は前期比11.0%増の300億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10.4%増の180億円の増収増益の計画です。
- ・第3四半期累計期間での通期に対する進捗率で約7割と、前年同期よりもよい状況にあり、通期計画達成への手応えも強まってきている状況です。
- ・第3次中期経営計画の最終年度をよい形で終わられるように、残り3ヶ月もしっかりと諸施策の推進等に取り組んでまいりたいと考えています。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

2018年3月期 業績予想ハイライト②

(単位：円)

・ROEは、「2021年3月期までの10%超」達成に向け、更なる向上を目指す。

1株当たり当期純利益

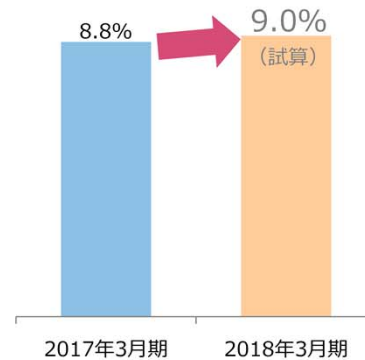
前期比 +21.74円 (+11.5%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、前期比向上を見込む。
(自己株式の取得に伴い、期初予想値から引き上げ)

自己資本当期純利益率

前期比 +0.2%

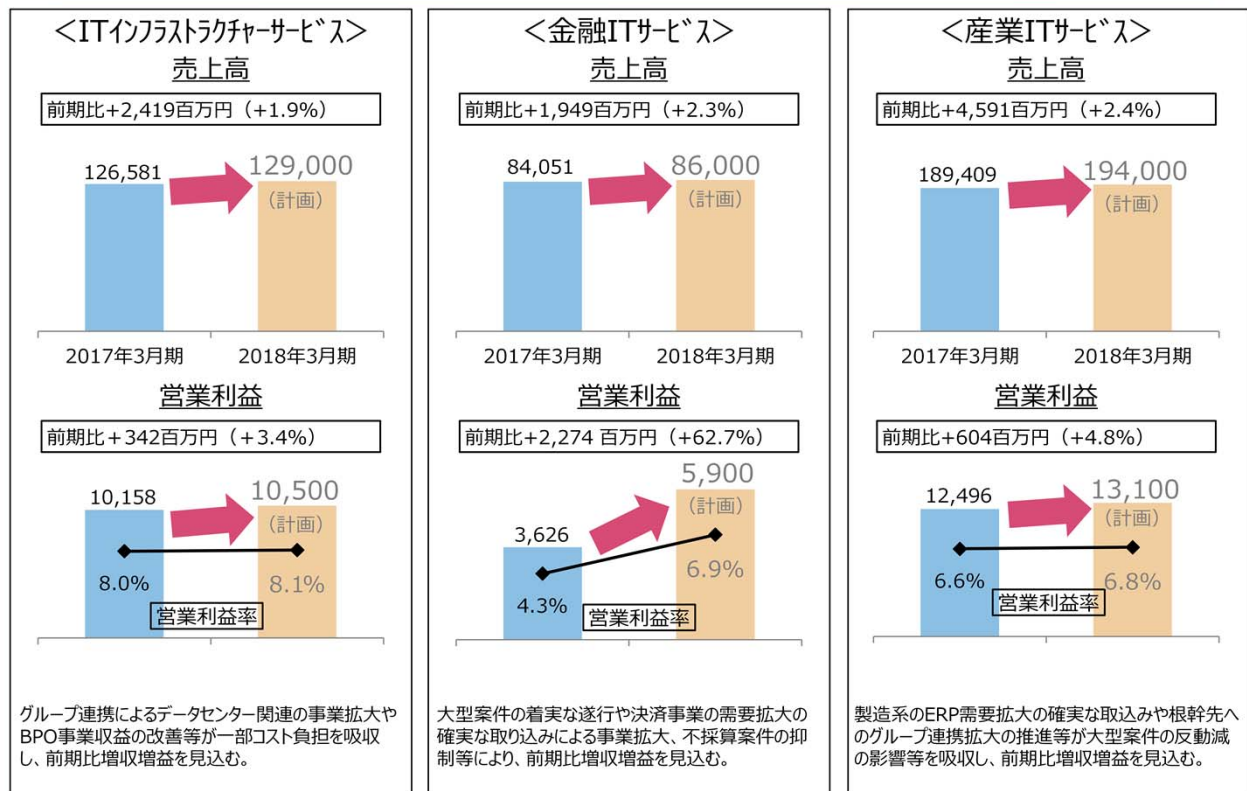


主として収益性向上により、さらなる向上を見込む。

(説明省略)

2018年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

（単位：百万円）



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

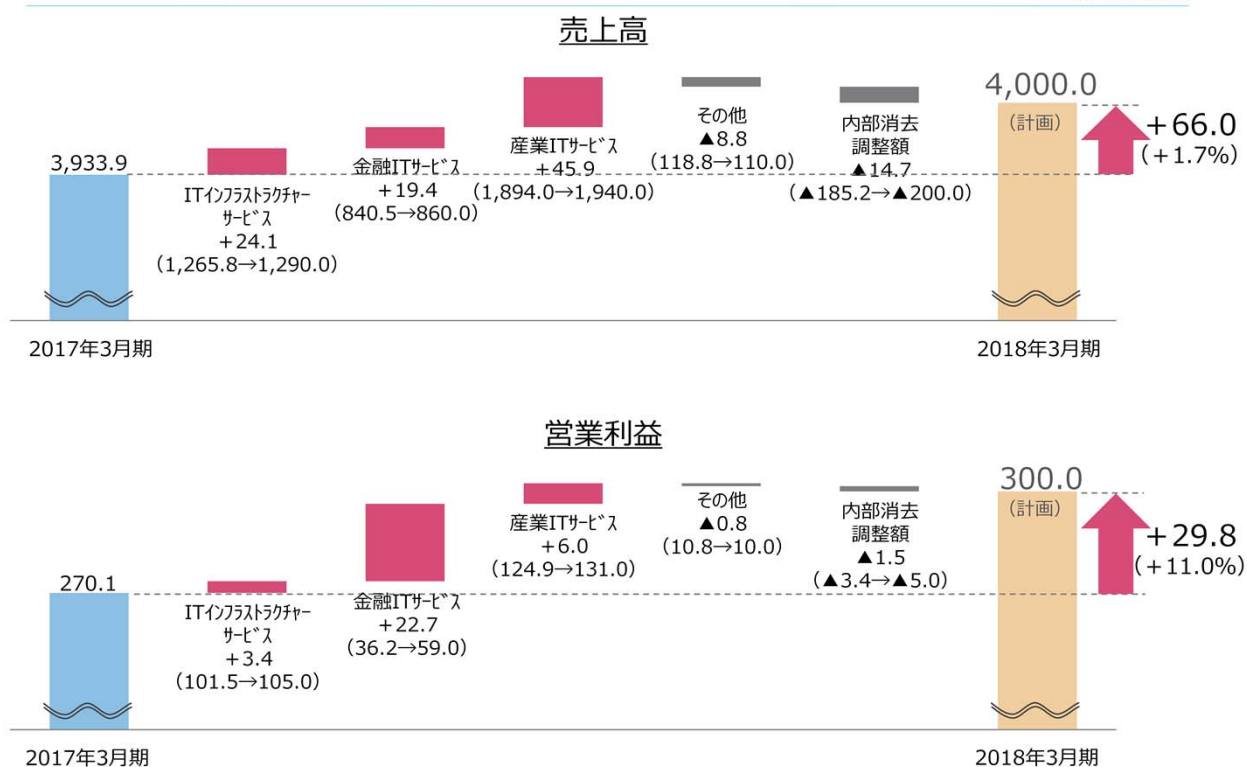
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

16

（説明省略）

2018年3月期 売上高・営業利益増減分析（予想）

（単位：億円）



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

17

（説明省略）

2018年3月期 主要セグメント別の注力ポイントの取組み状況

<ITインフラストラクチャーサービス>

- ・セキュリティ等の付加価値サービスの拡大によるサービス型への転換加速、クラウドサービスの拡大
- ・グループ全体での閉域ネットワークサービス「DCAN」接続開始等、データセンター・ネットワーク事業におけるグループ間の相互販売の積極推進
- ・BPO統合効果の創出と高収益案件の拡大による採算性の改善

<金融ITサービス>

- ・カード系大型案件の確実な遂行、根幹先の戦略テーマ取り込み
- ・『PAYCIERGE 2.0』のプレゼンス向上とマネタイズ加速による決済サービス事業の拡大
- ・決済多様化ニーズを捉え、決済事業者、流通系、交通系等への顧客基盤拡大
- ・銀行・保険は景況感不透明も、根幹先を中心として、重点テーマの獲得に向けた営業強化

<産業ITサービス>

- ・公共系大型案件の確実な遂行
- ・根幹先の戦略テーマの取り込みとグループ連携による更なる深耕
- ・製造業を中心としたERP更新需要の取り込みによる顧客基盤拡大
- ・IT戦略が経営戦略に直結する状況の中、従来型SI事業に加え、コンサルティング・上流ビジネスの強化による『高付加価値ビジネスの絶え間ない追求』の推進

(説明省略)

2018年3月期第3四半期（累計） 業績概要

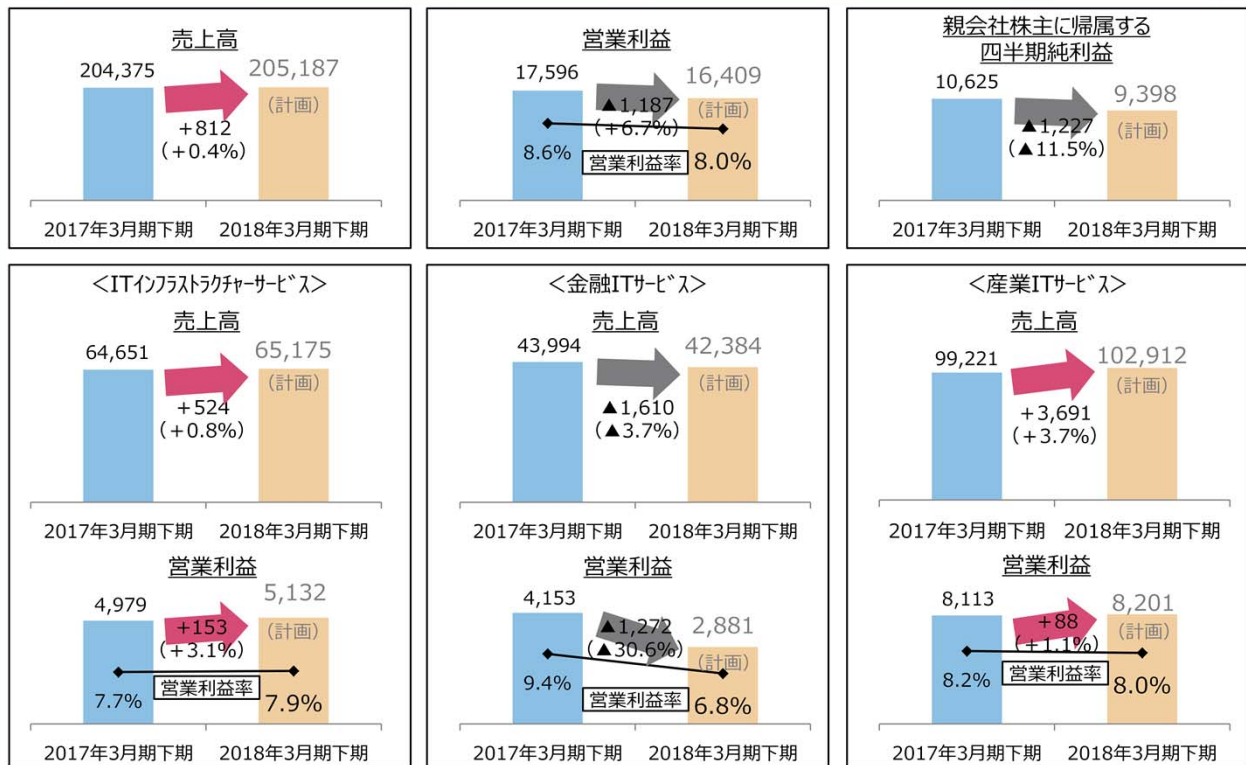
2018年3月期 業績見通し

参考資料

（説明省略）

2018年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



Copyright © 2018 TIS Inc. All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期実績を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

20

（説明省略）

2018年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2017年10月2日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2017年10月2日	ネクスウェイ、『医薬情報おまとめサービス』に病院薬剤部の宛先を追加し、配布数全国約60,000軒へ
2017年10月3日	インテックと富山第一銀行、共同で仮想通貨検証実験を実施
2017年10月4日	TIS、ITインフラ環境の自動構築・自動テストを実現する『SHIFT ware』をOSSとして公開
2017年10月4日	インテックの「F ³ （エフキューブ）クラウド」、地方銀行での導入が本格化
2017年10月5日	スカイディスクとA J S、総合化学関連業界向けAI・IoTサービスに関する基本合意書を締結
2017年10月10日	TIS、『Oracle Excellence Awards 2017』でSCM Cloud領域のグローバルパートナーアワードを受賞
2017年10月12日	TIS、セールスフォース・ドットCOMのグローバル対応のクラウド型ECソリューション導入を支援
2017年10月16日	TIS、新電力向け対面販売支援ソリューション「エネLink Sales+」にメニューを追加
2017年10月17日	年賀状は虚礼じゃない！？ネクスウェイ、BtoBにおける年賀状の実態調査を実施
2017年10月18日	TIS、Pivotal Cloud Foundryのパートナー契約を締結
2017年10月24日	凸版印刷とTIS、スマートスピーカーで協業
2017年10月25日	博報堂D YグループとTealium Inc.、TIS株式会社、新規顧客開拓から既存顧客育成までマーケティング活動をワンストップで支援するプロジェクトチーム「Team AIM（Audience Integrated Marketing）」を組成
2017年10月25日	マイクロメイツ、「読みやすく、わかりやすい」マニュアル・手順書を多言語で作成する「翻訳サービス」の対応範囲を拡大
2017年10月26日	TISの『CARD×DRIVE』がソニー銀行の「Sony Bank WALLET」に採用
2017年10月27日	TISの決済関連サービス『DebitCube+』の採用事例をご紹介
2017年10月27日	インテックの「F ³ （エフキューブ）クラウド」、栃木銀行への提供を開始
2017年10月30日	インテック、高精度な画像認識技術と独自のフレームイン技術を用いた、視覚障害者向け「音声読み上げスキャナ」を開発
2017年10月31日	クオリカ、働き方改革推進のため、テレワークを活用した3つの施策を導入
2017年11月1日	ネクスウェイ、「一般社団法人Fintech協会」と「一般社団法人日本仮想通貨事業者協会」に加盟し、海外在住者の本人確認やオンライン認証の検討開始
2017年11月2日	TIS協賛の「MURCアクセラレータLEAP OVER」で、第1期生の企業を採択し4か月間の支援プログラム開始
2017年11月6日	TISとインテックが米国にグループの「シリコンバレー・イノベーション・ラボ」を設立

（説明省略）

2018年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2017年11月7日	TIS、クラウド型CTIのコムデザインへ出資しサービス展開を強化 ～ CTIビジネスを強化し、統合マーケティング・ソリューションに追加～
2017年11月8日	インテック、タワー 1 1 1ビル スペシャルライトアップのお知らせ
2017年11月9日	住吉鋼管の基幹システムを「Oracle Cloud」へ全面移行しBCP対策を実現
2017年11月9日	アグレックス、新拠点「Biz TRUXIA（ビズトラシア）」を開設し、中核機能の集約により、BPO事業の高度化と働き方改革を推進
2017年11月13日	インテック、九州フィナンシャルグループへ「広域ビジネスマッチングサービス」を提供開始
2017年11月13日	ネクスウェイ、「FNX e-受信FAXサービス」をバージョンアップ 受信した F A X 原稿の編集機能を拡充、U I も刷新
2017年11月15日	TIS、カスタマーデータプラットフォーム「TREASURE CDP」の導入・運用支援を提供開始
2017年11月16日	TIS、コーセーの全社横断のデータ分析プラットフォーム構築を支援
2017年11月20日	アグレックス、保険会社向けにクレジットカード情報の非保持化に対応した「非保持化BPOプラットフォーム for 保険ダイレクトマーケティング」の営業を開始
2017年11月21日	TIS、RPAを活用した横河電機の本社業務の生産性改革を支援
2017年11月22日	TIS、業務効率化と生産性向上に向けたRPA導入を支援する『TIS RPAソリューション』を提供開始
2017年11月27日	TIS、医療関係者の共通IDサービスを提供するNTTドコモグループのm e d パス社と販売代理店契約を締結
2017年11月29日	ネクスウェイとドリーム・アーツ、チェーンストアの働き方改革を後押しする『店舗matic』 店舗スタッフを大事な接客・売場創りから遠ざける“エクセル業務”をなくす！
2017年11月30日	TISとOUVCが、AI×FinTechのベンチャー株式会社エルブズへ出資
2017年11月30日	日本カードネットワークが、クレジット決済ネットワークシステムにおいてAIによるネットワーク監視を試行開始
2017年12月1日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2017年12月1日	クオリカ、オリンパスシステムズよりファッション・アパレル業界向けサービスのユーバス事業の一部を譲受
2017年12月4日	Microsoft Azureにおける製薬会社向けクラウド利用リファレンスを提供
2017年12月6日	TIS、標的型攻撃対策サービス「マネージドEDRサービス」を提供開始
2017年12月11日	TISの「TCM(TIS Chemical Model)」が、「SAP S/4HANA® 1709」パートナーソリューションで世界第 1 号の承認を獲得
2017年12月12日	TISとグリッドがAIを活用したソリューション展開に向けて業務提携
2017年12月12日	アグレックス、女性活躍推進法の優良企業認定マーク「えるぼし」の最高位を取得
2017年12月13日	TIS、「AIビジネス推進コンソーシアム」へ参画

(説明省略)

2018年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ③

発表日付	タイトル
2017年12月14日	TIS、「Amazon Alexa」に対応する『三菱東京UFJ銀行Voice Banking for Alexaβ版』の開発を支援
2017年12月14日	ネクスウェイ、不動産クラウドファンディング事業者向けに本人確認業務を支援
2017年12月18日	TISが、ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学と「AIとSDNを活用した次世代CDN技術」の共同研究を開始
2017年12月19日	TIS、SaaS型の業務チャットボット作成サービス『DialogPlay®』の正式版を提供開始
2017年12月20日	中央システムのクラウド勤怠管理システム『レコル』、マネーフォワードの「MFクラウド給与」とAPIによるサービス連携
2017年12月21日	アグレックス、Veeva Japanとコンテンツパートナー契約を締結し、「Veeva CRM MyInsights」の構築サービスを提供開始

(説明省略)



(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

（説明省略）